



蝶が羽ばたくように林にとけこむ「バタフライハウス」



ノースバンクーバー市の北岸山脈の南斜面に建つ「バタフライハウス」は、鉄とガラスの近代建築の教義を重視しつつも、木材とティンバーを剥き出しにして、清々しさと現代美を創出した住宅です。

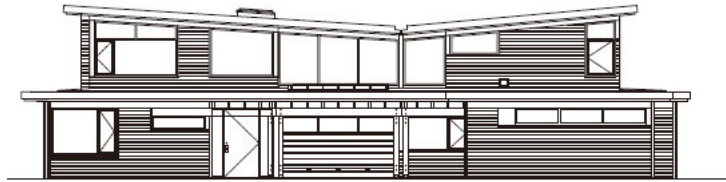
自治体が規制する高さ制限をクリアするとともに、床面積の制限を最大限に活用するために、地下室を備えた2階建て住宅となっています。

住宅の背後は深い森と渓谷になっているので、あたかも森の中に建っているような雰囲気があります。両サイドに跳ね上がる屋根は、蝶の羽のように建物を特徴づけ、「バタフライハウス」と呼ばれる由縁となっています。将来、屋根には植物を繁らせる計画で、背後の山岳風景と都市の景観をうまく結合させ、その情景に現代建築が融合する建物といえます。

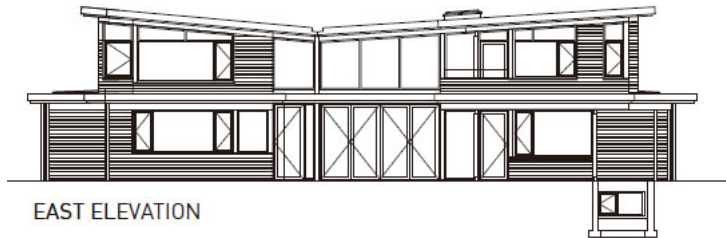


Exterior

「バタフライハウス」はウッドフレーム工法（ツーバイフォー工法）で建設されています。ダブルグルーラミネート状の8x8の柱が西側正面入り口にかかる大きなグルーラムビームを支え、一連の3x10の垂木が通路とベンチエリアを覆うスカイライトの上に走っています。東側には大きな開口部を有しています。外壁は、透明ステイン塗装のウエスタンレッドシダーが使われ、屋根の幕板はアルミで縁取りしています。この幕板はアルミの窓枠とともに、外観に近代的フィーリングを与えています。



WEST ELEVATION



EAST ELEVATION

Planning

西側道路からまっすぐ伸びるアプローチの先に玄関があり、木のドアを開けると、正面は2階に上がる階段、背後には地階に下がる階段。その左手が書斎とオフィス、右手にはLDK、サニタリー、ランドリースペースがあります。2階は左手に子供室、右手のリビングの吹き抜けの先が主寝室になっています。道路側は窓を高くして、外部からの視線を抑える一方、住まい手は外の様子をうかがえるように配慮しています。反対の東側の大きな窓からは、芝生のある庭とその先の景観を自由に楽しめます。



▲リビング



▲ダイニング



▲キッチン

所在地：カナダ ブリティッシュ・コロンビア州ノースバンクーバー

設計：ケビン・バレリー

竣工：2013年6月

Photo & Report : [Peter Powles](#)

【無断転載禁止】

本ページ掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。